

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎羽根校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		法令で必要とされる配置数に加え、職員を1名以上配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		屋外は、駐車場に段差はあるが、改善は困難である。屋内に段差は無く、構造化された環境となっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			各種会議（掃除・防災・感染症）を定期的実施し、業務改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			法令に合わせて年1回、事業所評価を実施し、業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		法令に合わせて年1回、事業所評価を実施している。結果をホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			弊社の他事業所と共に、第三者評価の導入を検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事例検討会・ウェビナー研修を月1回以上実施。その他、外部研修の機会を確保している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントをもとに、担当職員で話し合い、支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内で統一したアセスメントシートや発達プログラムを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数職員で担当する場合、専門性が求められる場合は、チームで立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			ご利用の度に、保護者様と打ち合わせを行っている。情報共有やご要望の把握に努めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			生活リズムやご要望を把握し、きめ細やかに課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			マンツーマンのニーズに合わせて、個別活動を中心に行っている。集団活動のニーズがあるか、定期的に調査を行う。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝の打ち合わせ等で、確認を行っている。非常勤職員など、打ち合わせに参加できない場合は、会議録等を通して周知している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			情報共有を行っている。緊急性のない場合は、翌朝の打ち合わせ等で確認を行っている。また、個別に詳細にわたり引継ぎ話し合いをしている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録、業務日報等に記録を残し、支援の検証・改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に面談を行い、見直しの必要性を判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って基本活動を組み合わせ、一人ひとりに合わせた支援内容を設定している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者が参加し、それぞれの立場から専門性を活かした話し合いを行っている。事業所内においても、会議の報告を行い、内容の周知に努めている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		保護者を通じて、情報共有は行うが、直接出向くなどの必要性は、現状無いと思われる。今後は保護者のご要望に沿って行く。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		重症心身障害の受け入れはない。今後、必要に応じて、医療機関等との連携を図っていく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		ご要望に応じて実施している。会議や文書等によって、情報共有や相互理解に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		今年度、該当者なし。今後、保護者様のご要望に合わせて、移行支援を行う。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修、見学等に参加している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		保護者様の意向を確認し、必要に応じて、今後、実施していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			研修、見学の機会があれば参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			ご利用時に、保護者様と打ち合わせを行っている。情報共有やご要望の把握に努めている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者様の意向を確認し、必要に応じて実施していく。場合によっては、フィードバックや、モニタリング、事業所内相談などで取り入れている。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際、保護者様と書面の読み合わせを実施している。質問には、適切にお答えしている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談内容に合わせて、必要な助言と支援を行っている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	マンツーマンのニーズに合わせて、個別活動を中心に行っている。保護者会等のニーズは、要望に沿って開催していく。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談に応じて、迅速かつ適切に対応している。体制整備が難しい場合は、その旨をお伝えし、ご理解を得ている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログ SNS、LINE 等を通して、活動内容やスケジュール等を伝えている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は、鍵付き書庫等で管理している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的な補助(図やイラスト、掲示板、便り)等を活用している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	マンツーマンのニーズに合わせて、個別活動を中心に行っている。引き続き、定期的にニーズを把握していく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを整備し、定期的に訓練を行っている。掲示板やブログ等で、保護者様へ周知している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間スケジュールを作成し、月 1 回以上の訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			月 1 回以上の会議、年 1 回以上の研修を継続している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束等について月 1 回以上の会議を行っている。取り決めに従って、保護者様の了解のもと、必要書類等の記録を残している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事提供なし。食物アレルギーについては、契約時・契約更新時に把握している。配慮のいる場合は、医師の指示書を提示いただくようにしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	ヒヤリハット報告書を作成し、原因と対策についての情報共有を行っている。定期的に対策の見直しを行っている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎羽根校 保護者等数（児童数）27人：31人回収数：31人割合100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	6		個別に区切られてはいるが声はかなり聞こえるので気になる。	療育内容、子どもに合わせたスペース確保に努めている。音に関しては、個別に他方法でのカバーをする。この環境の中での集中力の強化を促す。駐車場の不足は、検討していく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	5			法令で必要とされる配置数に加え、保護者様に安心していただけるような指導員配置に努める。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	14	17		特に気にならないので問題ない。	駐車場の位置含め、入室におけるバリアフリー化が困難かもしれない。手だてを本部と相談する。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	31				個別支援計画など、オーダーメイドの療育に合わせて、支援計画を実施していく。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	28	3			同じプログラムにおいても、アプローチや目的が違うことを丁寧に説明していく必要がある。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		14	17	「きらり」での取り組みで要望していないので問題ない。	要望や、必要性があれば、適宜対応していく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31				保護者の意向を確認し、要望があれば、交流を検討していく。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	1		いつも丁寧に伝えていたいただきありがとうございます。	日々の支援の中で、常時共通理解を校舎全員で努めている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	4		豊富な知識での助言をいただけて、大変助かっています。	相談に応じて、必要な助言と支援を行っている。事業所の更なる働きかけをご要望と受け止め、今後に生かしていく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		11	20	父母の会に参加したことがない。特に必要とされていないので問題ない。	個別療育が軸ではあるが、保護者の意向を再確認し、必要に応じて、連携を検討していく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	8	1	ワンフロアの為担当の先生と相性が合わないなどの問題を相談しにくい。児発管だけに伝えたい内容を相談できる時間があるといい。苦情を出したことがない。	苦情・相談に応じて、迅速かつ適切に対応している。しかし、新たな問題の予防まで広げていく必要性を感じている。今後に生かしていく。日々児発管から声掛けをしていく。

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	3			視覚的な補助など、十分な配慮ができています。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	13	1	LINE での連絡がとてもわかりやすく助かっています。	ブログや掲示板、会報などを通して、活動内容やスケジュールを伝えている。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	28	3			個人情報は鍵付き書庫で管理している。プライバシーなど、構造上の問題は、可動式の壁などで対処している。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	8	3	説明を受けたかもしれないが忘れてしまいました。	マニュアルを策定し、掲示やお便り、口頭での説明を通して、保護者様に周知している。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	12	5		年間スケジュールを作成し、月1回以上の訓練を行っている。参加していただいた方が限られてくるので、曜日を変えるなど全員の参加ができるような工夫をしていく。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	23	8			苦手な事も楽しんでもらえるようなプログラム作りに努める。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	29	2			全員に満足して貰えるように、工夫・適宜改善した支援内容の提供に努める。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。